

指定管理者評価表(外部評価シート)

1. 基本事項

1. 基本事項		評価対象期間		令和5年4月1日 ～令和7年3月31日		
施 設 の 概 要		指 定 管 理 の 状 況				
名 称	啓発宿泊研修施設（わくわく体験館）	指 定	名 称	有限会社可児ガラス工房		
所 在 地	可児市塩河1071番地 4	管理者	所在地	可児市塩河3153番地の1		
設 置 目 的	<設置目的> 広く廃棄物処理及びリサイクルの啓発を図る <事 業> ①廃棄物処理及びリサイクルについての学習 ②環境学習 ③地域のふれあい ④管理者が特に認めること	指定管理期間		令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日（1期目）		
		選 定 種 別		公募・ 非公募	利用料金制	採用（一部・完全） ・不採用
		業 務 内 容		<事業> (1)文化芸術の向上、スポーツ・レクレーションの振興に関する事業 (2)施設等の管理運営に関する委託事業 (3)その他目的を達成するために必要な事業		
供用開始年月	平成11年 5 月					
施設所管部署	業務課 施設 2 係					

2. 施設の運営状況

① 利用状況

項 目	令和3年度(1年目)	令和4年度(2年目)	令和5年度(3年目)	令和6年度(4年目)
開 館 日 数	294 日	296 日	292 日	291 日
施設利用者数	10,120 人	14,400 人	18,338 人	20,404 人
施設稼働率	80.5 %	81.1 %	79.8 %	79.7 %

② 自主事業実施状況

項 目	令和3年度(1年目)	令和4年度(2年目)	令和5年度(3年目)	令和6年度(4年目)
開 催 回 数	483 回	499 回	359 回	377 回
参 加 人 数	5,411 人	8,386 人	7,357 人	7,794 人

③ 主な自主事業の内容

実施年度	事業の名称等	参加人数
令和3年度	リサイクル講座・出前講座・企画講座	1,138 人
	環境イベント等(作品展来場者含む)	1,840 人
令和4年度	リサイクル講座・出前講座・企画講座	1,159 人
	環境イベント等(作品展来場者含む)	2,749 人
令和5年度	リサイクル講座・出前講座・企画講座	1,156 人
	環境イベント等(作品展来場者含む)	1,309 人
令和6年度	リサイクル講座・出前講座・企画講座	1,047 人
	環境イベント等(作品展来場者含む)	2,666 人

3. 収支状況

① 収 入

単位:円

項 目	令和3年度(1年目)	令和4年度(2年目)	令和5年度(3年目)	令和6年度(4年目)	
	実績	実績	実績	計画	実績
指定管理料	59,000,000	59,000,000	60,000,000	59,000,000	59,000,000
利用料収入	663,000	693,000	3,116,000	3,200,000	4,265,000
自主事業収入	8,914,000	16,636,000	12,244,000	13,800,000	12,619,000
雑入	1,000	0	0	0	357,000
そ の 他		0	33,000	0	13,000
収入計 A	68,578,000	76,329,000	75,393,000	76,000,000	76,254,000

② 支 出

単位:円

項 目	令和3年度(1年目)	令和4年度(2年目)	令和5年度(3年目)	令和6年度(4年目)	
	実績	実績	実績	計画	実績
人 件 費	42,533,000	45,020,000	43,210,000	45,000,000	44,055,000
管 理 費	16,461,000	17,475,000	22,443,000	20,100,000	20,504,000
事務費/法人運営費	701,000	1,430,000	986,000	1,200,000	951,000
事務費/講座等開催費	2,157,000	3,809,000	4,034,000	3,200,000	3,608,000
修 繕 費	196,000	675,000	1,085,000	1,000,000	1,035,000
租 税 公 課 等	3,218,000	4,691,000	4,738,000	5,500,000	5,087,000
支出計 B	65,266,000	73,100,000	76,496,000	76,000,000	75,240,000
収支 A-B	3,312,000	3,229,000	-1,103,000	0	1,014,000

4. 評価結果

区分	評価項目	評価内容	一次評価(施設所管課)		二次評価(選定評価委員会)	
			評価理由等	評価	評価理由等	評価
業務の履行	事業計画書及び協定書に掲げる業務の実施状況	事業計画書や協定書に掲げる業務が確実に実行されているか	各種事業について年度当初の事業計画書、年度毎の協定書通り確実に実施している。	B	各種事業が協定書に沿って適切に実施されている。また、緊急時の対応の備えもされており、健全な管理がなされている。特に改善点等を要する事項はない。	B
	人員配置及び職員研修の状況	必要な人員が確保され、職員研修も実施されているか	必要な人員は確保され、研修や必要な講習等も受講されている。また、令和7年1月に導入したガラス電気式溶解炉の運転、維持管理方法について事前に十分な研修がなされた。	A		
	文書・帳簿の管理保存状況	管理業務に関する文書・帳簿は適切に整理保管されているか	事務所内の書庫に整理整頓され施錠し管理している。	B		
	施設設備・備品の保守管理の実施状況	管理施設の設備・備品の保守管理状況は適切か	消防や空調又はエレベーターの定期的な保守点検がされている。浴槽設備の、ろ過装置点検と水質検査を年2回確実に言い適切に管理している。	B		
	緊急時の対応方法	緊急時の対応マニュアルや事後の対応への備えができているか	災害時のマニュアルを作成し、職員並びに組合との共有をしている。年に2回、消防署への通報訓練及び避難訓練と消火機器の実務訓練をしている。	B		
	利用者の推移	利用者が特別な事情がないにもかかわらず前年度に比べ減少していないか	新型コロナウイルス対策で令和2年以降休館を継続していた宿泊及び浴室の利用を令和5年度6月1日より再開し、令和6年度では宿泊と浴室の利用者も利用目標人数に達している。なお、体育館利用者数の減少は定期的に利用していた団体の利用頻度が少なくなったと推測される。	B		
サービスの水準	サービス向上及び経営改善に関する独自の取り組み	サービス向上等に向けた独自の取り組みは実施されているか	ガラス体験では独自の取り組みとして、回数の多いフリークラスの利用者へ技術習得のためお得な回数券を販売している。	B	サービス展開はガラス工芸が主であり、これまでの経験を活かし、誇りを持って展開できている。その他のサービス水準は概ね維持されている。	B
	利用者満足度調査における施設満足度	利用者の施設満足度は高いか	利用者アンケートでは「施設が綺麗」、「職員の対応が親切、丁寧」、「楽しく利用できた」などが大半を占めており、体育館では備品(遊具)の貸出しが好評と伺えた。貸館、自主事業ともに施設満足度は高いと評価できる。	A		
	PR・情報提供の実施状況	様々な方法により、積極的なPRや情報提供が行われているか	様々な媒体での積極的なPR・情報提供活動を展開している。令和5年度から新たにデジタルスタンプラリーのイベントにも参加している。令和6年度は名古屋市栄の岐阜のアンテナショップに出展し、以後ショップ内にパンフレットの常設設置することができた。	A		
	苦情処理の状況	苦情に関する帳簿が作成され、内容は職員に周知され、適切な対応がなされているか	利用者アンケート用紙に苦情又は要望があった場合は帳簿に保管され職員に情報共有をおこない適切に対応に努めている。なお、令和5、6年度共に苦情は0件であった。	B		
収支状況	指定管理施設の経理事務の状況	指定管理施設に関する経理事務は適正に行われているか	モニタリングで適切に実施され、経理事務は顧問税理士を通して適正に行われていることを確認した。	B	令和5年度の収支赤字は的確に分析されており、令和6年度には収支が改善されている。	B
	指定管理者の財務状況	指定管理者の財務状況は適正か	施設の財務状況は適切で財務指標で経営状態を分析した結果、良好である。	B		
総合評価			新型コロナウイルス感染症が5類感染症になり、浴室は曜日限定で再開し、令和6年度6月1日から通常営業となったことにより、施設利用者数は積極的なPRや情報提供もあって年々増加傾向である。総じて収支状況も良好であり、指定管理者の主な業務については適正に行っているといえる。	B	「所見」欄に記載	B

所見	・各種事業が協定書に沿った形で適正に実施されている。 ・管内の利用者数では、可児市在住者の比重が大きいので、利用者の少ない管内北部の町村にも積極的にPRをしていってほしい。 ・広報、宣伝においては、SNSなどの活用も取り入れてはどうか。 ・施設利用者からのアンケート用紙による苦情は記録できているが、口頭による些細な苦情や要望についても記録を残せると良いのではないかな。
----	--

5. 参考(評価基準)

① 区分別評価基準

◆業務の履行

評価	内 容
A	適切に実施されており、より効果的に業務が実施されている
B	適切に実施されており、特に改善等を要する事項はない
C	おおむね適切に実施されているが、その一部に改善を必要とする事項が見受けられる
D	要求事項が実施されていないか、実施されていても適切ではないため大幅な改善が必要である

◆サービスの水準

評価	内 容
A	サービス水準の向上が認められ、独自の工夫も多く見受けられる
B	サービス水準はおおむね維持されている
C	サービス水準の一部に低下が見られ、サービス向上の努力が必要である
D	サービス水準が低下していると認められるため、サービス向上に向けた大幅な改善が必要である

◆収支状況

評価	内 容
A	収支は計画に比べ向上が見られる。財務状況も良好である
B	収支はおおむね計画どおりと認められる。財務状況は良好である
C	収支のいずれか、又は両方が計画を達成していない。財務状況は良好である
D	収支のいずれも計画を達成していない。財務状況も良好とはいえない

② 総合評価基準(評価指標の①②のいずれかの基準を採用し、評価を決定する)

評価	内 容
A	① 全ての評価がB以上で、Aの割合が60%以上である
	② 適切に実施されており、評価できる点が多く、改善が必要と思われる重要事項もない
B	① 全ての評価がB以上で、Aの割合が60%未満である
	② おおむね適切に実施されており、評価できる点もあるが、軽微な事項を含め改善が必要な事項がある
C	① A・Bに該当せず、Dの割合が30%以下である
	② 適切に実施されている部分もあるが、改善が必要と思われる重要な事項もある
D	① 上記のいずれの評価にも該当しない
	② 改善が必要と思われる重要な事項が多く、早急な改善が必要である